

渡航後報告書

Lisbon, Portugal
IADE Creative University
16/09/2021 → 31/10/2021



16/09/2021 → 31/10/2021

街と生活

Lisbon, Portugal

今日は11月2日。サマータイムが終わり、日本との時差が1時間増えました。先輩の留学報告書を見ては憧れていたのですが、自分がこうやって報告書を作っていると、憧れの中にいるんだと嬉しくもなんだか不思議な気分です。



02 Lisbon, Portugal



Cloths

ここ数日は雨が続いていて、気温も少し下がった気がします。それまでは、日中に雨が降ることもなく、夏の余韻が続いていました。(ここからは先は2週間ほど前に書きました)とても過ごしやすい気候で、下着ってなんで見せちゃダメなんだろうと思うほどの格好の人もいます。そして、体温調節の難しい街だと思います。日差しに照り付けられたり、坂を登ったりしたら暑く、日陰で風に吹かれたり、じっとしていたら寒くなります。上着を一枚持っていっても荷物になったり、今日はいっかと思って持っていかなかったら寒かったりと。10月後半になりましたが、昼間は半袖でも大丈夫なくらいです。人によってはパーカーを着てたり、タンクトップだったりさまざまです。また、日が長いように感じます。(今気づきました、サマータイムのせいですね)18時半ごろから暗くなり始め、20時には真っ暗になります。街の電灯が暖色なところがお気に入りです。



学校を出て右に曲がった通りにある1€ピザ 大きくて美味しい

Eating

美味しいものを食べると幸せな気持ちになるし、健康のもとだと思うので、食べ物には多少のお金と気を遣おうと思います。家から徒歩5分圏内に2つのスーパーがあり、私が食べるもののほとんどをここから調達しています。果物や野菜、パン、パスタ、モッツアレラチーズなどは日本よりも安いです。主食はパンかじゃがいもかパスタかお米です。比率にすると、3.5 : 3 : 3 : 0.5 くらいです。しばらくは、ミネラルウォーターを買っていましたが、最近、水道水を飲み始めました。いたって普通の水です。重い水を抱えて坂道を登るのがとても億劫だったので、もっと早くに飲み始めればよかったなと思います。

アジアスーパーにも行きました。ふりかけが500yenくらいでとても高級食材です。ここで買った梅酒と餃子をルームメイトはとても気に入っていました。私が日本から来たという高確率ですぐSushiの話になります。寿司パーティーを懇願されますが、食材ないし、炊飯器ないし、ちょっとめんどろだなあと思っています。それが伝わってしまったのかどうかはわかりませんが、最近美味しい寿司レストラン見つけた？と聞かれます。

ラーメン屋さんには行きました。あまり期待はしていませんでしたが、その予想を裏切ってとてもおいしかったです。ルーマニア出身の友人はどうしても箸でラーメンを食べたいそうで、麺を一本ずつ掴んでいました。楽しそうに奮闘している姿を見て、微笑ましい気持ちになりました。また、ちょっと散歩しようと街に出たときは、気づくとジェラートを食べています。好きな味はピスタチオとチョコレートとティラミスです。最近、今までで一番美味しいジェラート屋さんを見つけたので、寒くならないうちにまた行きたいと思います。



このひとつめ鍵は簡単に開けられます

Housing

私を含めて9人のシェアハウスで生活しています。家賃は330€でトイレバスキッチンが共有です。小さな不満はあっても、大きな問題はありません。学校から徒歩7分で坂を登ったところにあります。一番初めに、バス停(坂の下)から、キャリーバックとともに、石畳の坂道と3階までの階段を登るのに心が折れそうになったことを思い出しました。家の鍵はとても素敵なのですが、開け方にコツがあり、はじめの1週間はガチャガチャ音を立てたところを中から開けてもらっていました。家賃は現金払いです。そのため、クレジットカードで現金を引き出したところ手数料がなんと13%。これはなんとかしなければならぬので、N26というオンライン銀行を開設中です。

ルームメイトはイタリアからの3人組、フランス、ハンガリー、ベルギー(おそらく)、ブラジル、ポルトガルとさ

まざまな国籍の人たちです。彼らは、友達やら恋人やら家族などが次から次へと訪ねて来たり、訪ねに行ったりしています。これがEU圏内の行き来のしやすさかあとと思います。ちょっと、いやだしぶ羨ましいです。それでも、ここでのホームを感じられるようになってきました。顔を合わせれば、HeyとかHow are you?と話しかけてくれて、私の言ってることに耳を傾けてくれます。私もとりあえず、How about you?と聞き返します。最近は、キッチンと同時に使っても気疲れしないようにもなりました。デザートを食べるときに、パスタを食べ終わったお皿をそのまま使ったり、ワインも普通のコップで飲んだりするイタリア人に対し、フランス人は、デザートのために新しいお皿を用意して、ワインはちゃんとワイングラスで飲む。同じ料理を食べてても、行動が違って面白いです。



ピースしてくれました

Transportation

車の運転が雑な人が多いので、ぼけーと歩くととても危険です。バスの運転手でさえせっかちです。人が乗り込んだらすぐ出発するし、乗るアピールをしないとそのまま行ってしまいます。トラムは人がいっぱい、そのまま行ってしまったことがあります。今日は、ストライキでメトロが動いてないそうです。電車、路面電車などもあり、観光地だけあって公共交通機関が(想定通り機能したら)とても充実しているように思います。私は、30€で1ヶ月乗り放題の定期を使っています。この定期を手に入れるために5回も駅に通いました。リスボンは坂だらけなので、疲れている時は公共交通機関を利用します。しかし、結果として歩いた方が早かったなと思うことが多いです。リスボンで一番好きな乗り物は電動スクーターです。とはいっても、石畳はガタガタするし、道は狭いし、かといって車道に出ると車がスレスレを通っていくしと、たびたび危険を感じるるので、乗る時は気をつけて乗りたいと思います。



とても印象的な海

16/09/2021 → 31/10/2021

学校と授業

IADE Creative University

勉強してるのがデザインでよかったなつくづく思います。ビジュアルに助けられてなんとか理解したり、伝えたりしています。もちろん、言語がないとどうにもならないこともたくさんあります。

授業は14:00-18:00くらいで週4日あります。グループワークで課題がある時は20:00くらいまで学校にいます。1階には作業スペースと小さなカフェがあり、授業前や授業後に利用することがあります。最近の発見はコーヒーマシーンに砂糖の量が選べる画面があったことです。今まで数量と勘違いしていました。

私がいるのは、Global Design というコースで、20人か30人くらいいる中の6人くらいが留学生です。私以外はErasmusu というEU圏からの留学生です。授業は毎回同じメンバーなので、多くのクラスメイトとすれ違ったら挨拶するようになりました。また、授業前に作業していると、やって来たクラスメイトが同じテーブルに自然と座ってくれるのが嬉しいです。

08 Lisbon, Portugal



千葉大でざっくり例えるなら、プロダとコミュがセットになっていて同じテーマを扱い、それに必要なソフトの使い方を手取り足取り教えてくれる感じです。ちなみに学部2年生のクラスにいます。千葉大では、アイデアに時間をかけることが多く、見た目の部分は勢いで作ることが多かった私ですが、こちらの授業では、見た目が重視されている印象を受けます。リサーチにも重きが置かれていて、(と言ってもwebで調べるだけ)クリエイティブ、アイデアの面白さの追求というよりも実践的なグラフィックデザイン、ブランディングといった印象を受けます。また、ゴールと道筋が決まっているため、そのなかで効率的にここで決まっているデザインプロセスの正解を通っていく。といった感じです。しかし、その正解がなんなのか、私自身が通れているのかはまだよくわかりません。とりあえず、先入観に囚われないようにしたいです。





カラフルな遊び心がところどころに溢れています

Projeto Integrado II

こちらがメインの授業です。テーマはテスラのリブランディングです。初めのタームで Logo を含めたビジュアルアイデンティティのデザイン。次のタームでプロダクトデザインです。現タームでは、テスラの問題点についてのデスクリサーチを経て、私たちのグループはライフワークバランスと植物をコンセプトに Logo を考え、カラーやフォントなどを決めたデザインシステムを用いて、ブランドブックを作っています。

Estúdio Digital II

インデザインの使い方を教えてくれる授業です。Project Integrado ではインデザインを用いてブランドブックを作ることが求められているので、そのためのソフトの実践練習的な授業です。

Ergonomia

ペルソナ、シナリオ、ロゴの評価などを扱っています。これも Project Integrado のサブ的な立ち位置です。



練習で撮った赤いハイヒールとスニーカー

Photography Lab

こちらの授業は他の授業から独立していて個人ワークです。すでにプレゼンテーションをして終了しました。どんな授業だったのかというと、マニュアルモードでの写真の撮り方、いろんな写真の分野についてのレクチャーでした。いい写真を撮るコツは、とにかくたくさん撮るということでした。今まで、オートモードしか使っていなかったのですが、マニュアルモードでリスボンの街で写真を撮ることが単純に楽しかったです。私は海辺をテーマに10枚の写真を選びました。クラスメイトや先生の反応と終わりの拍手がとても嬉しかったです。プレゼン前はいい写真を取らなきゃと義務感にかられていたのですが、これからは気が向いたときにカメラを持って散歩に行きたいと思います。

Chiba, Japan
Chiba University
04/11/2021 Submit

中間報告書

Lisbon, Portugal
IADE Creative University
01/11/2021 → 16/02/2022





街と生活

Lisbon, Portugal

基本的な生活をきちんと送っています。食事は引き続きほぼ自炊です。最近はお米を目分量で炊けるようになり、パスタの腕前も、順調に上達しています。12月は雨が多かったのですが、土砂降りのような雨はほとんどなく、しとしと降る細かい雨でした。リスボンブルー（雲がひとつもない夏の空の青い色、勝手に名付けました。）と鋭い陽射しも清々しくて良いのですが、パステルみを帯びた青の空や霏のかかったはっきりしない白の空もまた良いです。1月でも日中は15度ほどありとても過ごしやすいです。しかし、外が暖かいせいで、家には暖房設備がなく、ものすごく冷えます。湯たんぽと薄い毛布をこれでもかと重ねて凌いでいます。

さて、何から書こうか、何を書こうか、なかなか決まりません。たくさんある中から何を選んでどう書いたらいいのか迷ってしまいます。非日常であったものが日常となってきたのかもしれませんが、しかし、一概にそうとも言えず、捉え方次第で行ったり来たりします。

昨日の日記を書くことにしました。私にしては珍しく続いている習慣が英語で日記を書くことで、今日はそのノートを家に忘れて今書けないので、代わりにここに書いておこうかと。いつもと違うのは、日本語であることと人に見られるものであるということです。これはだいぶ大きな違いです。

14・February

朝ご飯は、ご飯に目玉焼き（醤油とみりん味）を乗つけたものと即席の味噌汁でした。以前はお米がなくてもパスタとパンとじゃがいもで生きていけると思っていたのですが、やっぱりだめです。お米がないと生きていけません。朝ご飯を食べると大体外に出ます。家にも人の気配がして落ち着かないのと、家の周りには、好きな場所がたくさんあるからです。

昨日は、オシャレでリッチな部類のカフェに行きました。心なしかコーヒーにも少し凝った味わいを感じます。小さな中庭のようなところにも席があり、そこに座りました。寒くない限り、店内より外の空気に面している席を選ぶことが多いです。まだ午前中だったので人は少なく、とても静かでした。頭上には緑のカーテンの天井があり、夜の間に降った雨の残りの雫が時々何かの拍子に降ってきて、その度にやっぱり店内にすればよかったなと思いました。そして、店員さんから "Happy valentine!" とハートのクッキーをいただき、ハッピーな気持ちになりました。



苦い cafe (エスプレッソ) と甘いもののセットがポルトガルスタイル
@ 地元の人が集うポルトガルっばいカフェ

そのあと家に帰りパンをかじりました。スーパーのパンですが、未だに美味しくて感動できます。こちらの柔らかい生地(パンでもお菓子でも)は黄色味が強いです。何によって黄色くなっているのか気になっています。

そのあと学校の図書館に行きました。図書館というよりも図書室といった感じの自習空間です。窓から見える街並みがとても贅沢です(夕陽に照らされていると尚のこと)。今日はこの辺にしとこうかとなったら帰ります。昨日はスーパーに寄って、お肉とりんごとパンとお菓子と野菜とヨーグルトを買いました。最近、生き生きしているりんごがなくて困っています。時期ではないのですかね。お肉やパンを量り売りコーナーで買うときには、なんとなく覚えた挨拶と数字をポルトガル語で言うので、その後、店員さんはポルトガル語で何か聞いてくることがあります。でも、何を言ってるのかわからず、ポルトガル語がわからないことがいつもそこでバレます。お肉は醤油とみりん味付けしてご飯に乗せて食べました(昨日2回目)。

学校と授業

IADE Creative University

最終発表は1月の半ばにありました。私たちのグループは水をあげることでバランスをとる植木鉢を作りました。前半から続いているテスラのリブランディングというテーマの授業で、ライフワークバランスに注目し、前半の授業では新しいビジュアルアイデンティティを、後半の授業ではリラックスできる職場環境のためのプロダクトをデザインしました。

正直なところ、各授業が強引に繋がっている印象を受けました。まあでも、一通り授業でビジュアルも写真も材料もリサーチも網羅するから、あとはやりたいように、どんな方法、方向でもいいから自分達で深く極めていってねということだったのだと思います。

プレゼンテーションでは、モックの写真をとても効果的に使っているグループがあり、こういう魅せ方ではっとさせることもできるんだなと思いました。

Final Logo

Our logo is designed to represent balance, community, and growth. The separate shapes that combine together to build the overall "T" shape are meant to represent the ideas of the employees that will come together to build Tesla's new community. The cross of the "T" is composed of two shapes, one pushing up and one pushing down to balance each other out. The shape styles are designed to portray movement and growth to represent our brand's path towards a more sensible future.



2021

FINAL PRESENTATION

Color Variations

01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

TOP COMPARTMENT SWITCHES



BOTTOM COMPARTMENT SWITCHES



VENTILATION HOLES SWITCHES



1999

FINAL PRESENTATION

Self-watering

We aimed to develop a user-friendly plant pot that is also low-maintenance. Adding a self-watering feature not only benefits the user, but also promotes a healthier growth journey for the plant. The wick transports the needed amount of water for the plant, thus avoiding any harm that can be caused by over watering or not watering enough.

How can you tell when it is time to refill?

The Mechanism behind it... the amount of water is equally balanced with a correspondent weight. As the water lessens, the pot starts to tilt (as shown below).



1999

FINAL PRESENTATION



右奥から段ボール、左奥が粘土、右前が透明なプラスチック、左前が3Dプリンターで出力したプラスチックです。

ほとんどがグループ課題であり、尚且つグループのメンバーにも恵まれていたため、滞りなく授業を終えることができました。ただ、後半の授業へのモチベーションが湧いてこず、終わりに近づくにつれ、省エネモードを発動していたなと思います。自身に対するもどかしさが残りますが、グループのメンバーとのコミュニケーションを通してできた部分や分かったことにも、大目に目を向けて +0 くらいの自己評価にしたいと思います。

01/11/2021 → 16/02/2022



授業とは関係ないのですが、Print Lab でオリジナルTシャツとバックを生産しました。同じデザインのTシャツ3枚とバック4つは持て余しそうな気がしますが、楽しかったです。(友達に配ったので半分くらいになりました。)

Chiba, Japan
Chiba University
16/02/2022 Submit